

PHILHARMONIX

THE VIENNA BERLIN MUSIC CLUB

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

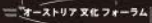



2022年 12月13日(火) 19:00 開演
東京芸術劇場コンサートホール

7:00p.m. Tuesday, December 13, 2022, Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

【主催】 ジャパン・アーツ 【提携】 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

【協力】 ユニバーサル ミュージック

【後援】 オーストリア大使館  / オーストリア政府観光局 

バルトーク／コンツ編：こどものために

Bela Bartok / Stephan Koncz : Gyermekeknek

マーキュリー／コンツ編：ドント・ストップ・ミー・ナウ

Freddy Mercury / Stephan Koncz : Don't Stop Me Now

ラトヴィア民謡／ギュルトラー編：トゥムシヤ・ナクテ

Sebastian Gürtler : Tumsa Nakte

リムスキー=コルサコフ：シェヘラザード

Rimski-Korsakov : Sheherazade

ベートーヴェン／コンツ編：スウィング・オン・ベートーヴェン

Stephan Koncz : Swing on Beethoven

モーツァルト／コンツ編：レクイエム・フォー・ファルコ

W. A. Mozart / Stephan Koncz : Requiem for Falco

フェリシアーノ／ギュルトラー編：フェリス・ナヴィダ

Jose Feliciano / Sebastian Gürtler : Feliz Navidad

ウィリアムズ／コンツ編：カンティーナ・バンド

John Williams / Stephan Koncz : Cantina Band

他

通訳：松田暁子

*曲目・曲順が変更になる場合がございます。

2022年 日本公演スケジュール

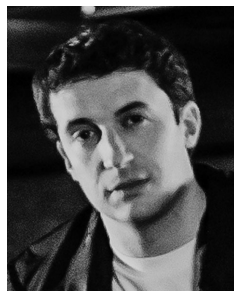
12月12日(月)	所 沢	所沢市民文化センター ミューズ アークホール	主催：(公財)所沢市文化振興事業団
12月13日(火)	東 京	東京芸術劇場 コンサートホール	主催：ジャパン・アーツ 提携：(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
12月14日(水)	東 京	浜離宮朝日ホール	主催：朝日新聞社／浜離宮朝日ホール
12月15日(木)	名古屋	愛知県芸術劇場コンサートホール	主催：東海テレビ放送 協力：クラシック名古屋



フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

Philharmonix Wien-Berlin

オーケストラ界の2つの頂点、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとその仲間たちによる、魅惑の凄腕アンサンブル。超絶テクニックをベースに、クラシック、ジャズ、ラテン、ポップスなど多彩なジャンルの音楽が持つ本質とエッセンスを融合させ、才気溢れる新たな解釈で披露するクラシック・シーンのエリートたちによる演奏体験は常に聴き手を心酔させている。グラモフォンからリリースされたアルバム『PHILHARMONIX The Vienna Berlin Music Club』Vol.1は、2018年のOpus Classic Awardを受賞。ヨーロッパでは今年8月26日にVol.3がリリースされた。Philharmonixの7人は今や世界中の音楽ファンから引く手あまたである。


ノア・ベンディックス=バルグリー (ヴァイオリン)

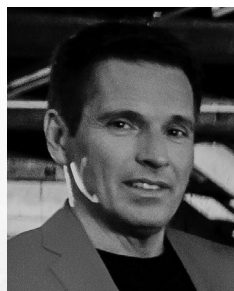
Noah Bendix-Balgley, Violin

カリフォルニア州生まれ。2014年よりベルリン・フィルの第1コンサートマスターとして活躍する。ソリストとして世界の著名オーケストラと共演し室内楽演奏にも情熱を注ぐほか、クレズマー音楽(東欧系ユダヤ民族音楽)の演奏と継承をライフワークにしている。


セバスティアン・ギュルトラー (ヴァイオリン)

Sebastian Gürtler, Violin

オーストリア出身。曾祖母はオーストリア人と日本人のハーフ。1997年から2008年までウィーン・フォルクスオーパー交響楽団で第1コンサートマスターを務めた。室内楽奏者としての活動に注力し、フィルハーモニクスでは積極的に作曲や編曲に携わる。


ティロ・フェヒナー (ヴィオラ)

Thilo Fechner, Viola

ベルリンの音楽一家に生まれる。スイス・ロマンド管弦楽団、ミュンヘン・フィルを経て、2004年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、同年ウィーン・フィルのメンバーとなる。同楽団ではツアー・マネジャーとして、「サマーナイトコンサート」のプロジェクトマネジャーを務めている。


シュテファン・コンツ (チェロ)

Stephan Koncz, Cello

ウィーン生まれ。ウィーン・フィルから2010年にベルリン・フィルに移籍。ヴェルビエ祝祭室内管の首席奏者も務め、「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーとしてもたびたび来日。作曲、指揮活動もこなす。


エーデン・ラーツ (コントラバス)

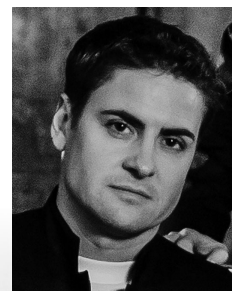
Ödön Rácz, Double bass

ブダペスト生まれ。2009年よりウィーン・フィル首席コントラバス奏者を務める。ソリストとして世界の数々の一流楽団と共演し、屈指の超絶技巧と称えられる。録音も多く、ドイツ・グラモフォンからボッテシーニのコントラバス協奏曲をリリースしている。


ダニエル・オッテンザマー (クラリネット)

Daniel Ottensamer, Clarinet

ウィーン生まれ。ウィーン・フィル首席クラリネット奏者。ソリストとしても世界中で活躍し、ベルリン・フィル首席クラリネット奏者の弟アンドレアス、ピアノのトラクスラーとともに「クラリノッツ」を結成。アダム・フィッシャー指揮ウィーン・フィルとの共演でニールセンのクラリネット協奏曲をソニー・クラシックからリリース。


クリストフ・トラクスラー (ピアノ)

Christoph Traxler, Piano

オーストリア出身。ソロ・リサイタルのほか、ウィーン・フィルとベルリン・フィルのメンバーと室内楽、ウィーン・フィルのピアノ奏者としても活動する。ダニエル&アンドレアス・オッテンザマーとともに「クラリノッツ」でも来日を重ねる。2022年秋からウィーン国立音楽大学の教授に就任。

